



# SDGs 通信

「美しい地球を次の世代へ」



# 8月号

SDGs 推進事務局

## 第1回 SDGs ってなんだろう？

### SDGs とは…

「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

## 地

球があぶない！

過去5年は観測史上最も暑い年となっています。

海面上昇率は年平均3ミリという、3000年で最大の速度で上昇しています。



## 汚

染と破壊が進む自然環境があぶない！

世界の熱帯林は驚異的な速さで減少し、1分間に30のフットボール競技場に相当する面積を失っています。年間で800万トンのプラスチックが海洋に流入しています。今行動を起こさなければ、2050年までには海洋のプラスチックの量は魚よりも多くなると予想されています。

## 脆

弱な状況にある人々があぶない！

全世界で1億5,200万人以上が児童労働を強いられています。

2017年には8億2,100万人が栄養不足でした。

自分の日常生活においてあまり関係ないのでは？  
そんな問題に対して自分ができることはないのでは？

### 本当にそうでしょうか？

皆さんが日々買い物しているその食べ物は世界のどこで、誰が、どのように作っているか考えたことがあるでしょうか？一緒に考えてみませんか？皆さんの今ある生活を維持できるように、未来の子ども達が今よりよい世界で暮らせるように、私たちの生活を支えているものについて一緒に考え、小さな一歩を踏み出してみませんか？

テストィパルグループが企業として取り組むことも重要です。さらに従業員の皆様1人1人が小さなことから始めることが

「美しい地球を次世代へ」に繋がります。マイボトルやマイバックを持ち歩くなど、身近にできることはたくさんあります。さあ一緒に一歩踏み出しましょう！

2022年7月度 第1版

発行日：2022年7月日

発行者：テストィパルグループSDGs推進事務局

広瀬 五味 龍見

発行所：大阪市西区新町1-10-2

# 始動

SDGs 南テスティパル

## 『サステナブルと

## へちまプロジェクト』

### —へちまを育て、海を守りたい—

プラスチックごみから生じるマイクロプラスチックは、海洋汚染だけでなく、海の生物の多様性の損失も地球規模の課題です。

南テスティパルのSDGsの取り組みとして、

へちまを育て、収穫したへちまからスポンジを作り、お客様や各家庭に配り、使うことで『サステナブルとへちまプロジェクト』を始動します。

へちまを『食用』『化粧水』『グリーンカーテン』にも用途を広げ活用していきます。



-----SDGs ゴール目標-----



プラスチック製品スポンジは食器洗いなどで排水溝から下水処理を通り、マイクロプラスチックごみとなって海へ流出してしまいます。

へちまスポンジを使用することで、マイクロプラスチックごみの削減できます。

へちまは、使い終わったら土に還るのでごみになりません。

へちまの収穫&  
へちマスポンジ作り  
(2021年度)



へちま成長の様子  
(2022年度)



# へちまの収穫& へちマスポンジ作り (2021年度)

## へちまの収穫(2021年10月30日)

へちま収穫の様子(夏の長雨で2/3が生育せず、1/3のみの収穫となりました)

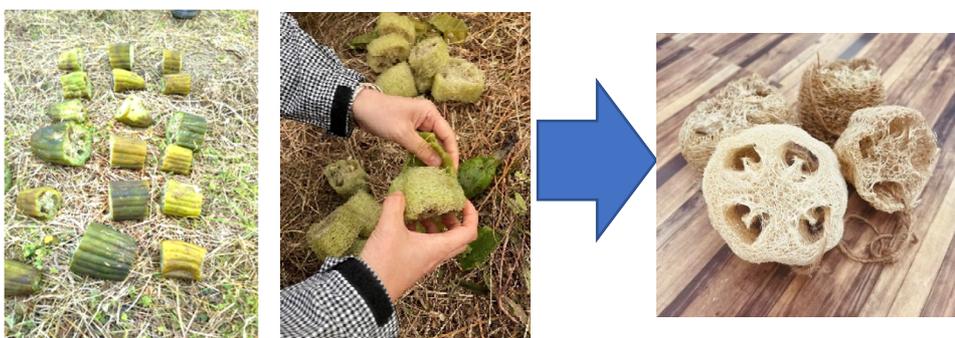


★乾燥していたへちまは、中の種を取り、少し干せばすぐにスポンジとして使用できます。

## へちマスポンジ作り(2021年11月6日)



★10/30に収穫したへちまのへたを取りスポンジで使いやすい大きさにハサミで3~4等分にカット  
30分茹でた後、皮むき(皮は土に還します) 1週間水につけて皮むきもできるそうですが、  
異臭が酷いようです。今回は大きな鍋で茹でました!



麻紐を通し1週間程度天日干し。  
乾燥後、種を取り完成。  
そのままスポンジとして利用可能。  
種は黒く熟したのもののみ  
来年植えることができます。  
(白い種は不可)

へちま成長の様子

(2022 年度)



へちま成長の様子(2022年5月29日に種を植えました)



6月15日  
発芽



6月17日  
少しずつ成長



6月22日  
さらに成長

6月25日  
植え替え

